

2026年5月21日
フューチャーアーキテクト株式会社

フューチャーアーキテクト、保険業界に向けたコンサルティングサービスを強化 「Futurefraqta」による科学的システム解析で IT コストを適正化

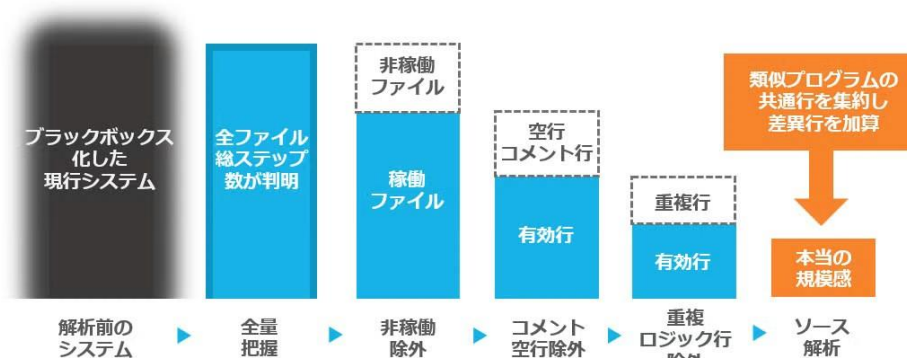
フューチャー株式会社(証券コード:4722)の主要事業会社であるフューチャーアーキテクト株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:齋藤洋平、以下フューチャーアーキテクト)は、2026年5月より保険業界におけるコンサルティングサービスを強化します。プロジェクト運営の基盤となる当社独自のソリューション「Futurefraqta」*を活用した現行システム解析により、保険業界特有の複雑な商品設計や契約等が実装されたレガシーシステムのモダナイゼーションに貢献します。

フューチャーアーキテクトは、金融・物流・流通・製造・エネルギーなど様々な業界のDXをお客様とともに推進しています。「Futurefraqta」は、当社が10年以上にわたり10,000を超えるITコンサルティングプロジェクトで培ってきたノウハウを集約した、プロジェクト運営を最適化するためのソリューションです。システム規模が数千万ステップを超えるような大規模プロジェクトを中心に活用実績があります。また、プロジェクト推進を行うための機能のひとつとして、「現行ソースコード解析」があり、ブラックボックス化したシステム全体をデータとして可視化します。データによるファクトベースアプローチが安全・着実なシステム移行と効率的なプロジェクト運営を支えます。

すでに保険業界のお客様に提供しているコンサルティングサービスの事例としては、システム解析を活用することで、エンハンスの保守開発やシステム更改に伴うITコストの大幅削減を実現しています。また、システム解析結果を活用することで、更改時の移行や予算などを含めた着実なプロジェクト運営の計画立案と実行を支援します。「Futurefraqta」を活用し、保険業界におけるIT投資を最適化するためのソースコード解析手法を整理し、コンサルティングサービスとして提供することで、保険業界のシステムモダナイゼーションを推進します。

■「Futurefraqta」を活用したコンサルティングサービスの実例

課題	解析アプローチ	効果
【エンハンス開発】 経年の機能改修によりエンハンス開発のコストが高止まり。	【主な実施内容】 ・ステップ数解析 ・類似ソース解析 ・内部構造把握 ・コスト削減策案の策定	年間約100人月分のコストを削減試算。
【EOS対応】 定期的な保守期限切れに伴うシステム更改予算策定に向けて既存ベンダーからの見積もりが高止まり。	【主な実施内容】 ・ステップ数解析 ・複雑度解析 ・概算見積もり	ベンダーからの見積もりに対して30%超のコスト削減。 (数十億のコスト削減)
【基幹システム刷新】 大規模基幹システムがブラックボックス化していることにより、刷新計画策定が難航。	【主な実施内容】 ・ステップ数解析 ・稼働ログ解析 ・システム関連図作成 ・システム刷新難易度評価	システム結合度や改修頻度を可視化し、次期アーキテクチャ検討や移行計画策定を支援。 非稼働プログラムの割合と、サブシステム毎の刷新難易度を定量的に可視化。



規模の算出イメージ

システムの老朽化による保守運用費の増大傾向やメインフレームの製造・販売停止などを背景に、多くの企業がDXを喫緊の経営課題に据えてきました。しかし、度重なる改修によるシステムの複雑化やブラックボックス化、構築当時の言語を扱える人材やプロジェクト推進を担えるDX人材の不足といった複合的な課題により、モダナイゼーションは極めて難度の高いプロジェクトとして、当社にも様々な相談が寄せられています。

AIを基幹業務に導入する観点においても、複雑なシステム基盤からの脱却は不可欠です。「Futurefraqta」を用いて複雑化・肥大化したシステム間の結合度を可視化することで、システムの切り分け方を見極め、安全で確実な移行計画の策定を実現します。科学的アプローチによりIT予算の大部分を維持・保守に注ぐのではなく、最新のテクノロジーに戦略的な投資を行うことでスピーディなビジネス展開を支援します。

フューチャーアーキテクトは保険会社が抱えるDX推進の課題に対して、科学的なプロジェクト運営による戦略策定からシステムの実装・保守まで統合的に支援を行い、安全なシステム移行による最適なIT投資を可能にすることで、お客様の未来価値を創造します。

※ 「Futurefraqta」(特許取得済)はフューチャー株式会社の登録商標です。
https://www.future.co.jp/architect/our_service/solution/futurefraqta/

■ 本件に関するお客様からのお問合せ先

フューチャーアーキテクト株式会社 金融サービス事業部 加藤 https://www.future.co.jp/architect/contact_us

■ 本件に関する報道機関からのお問合せ先

フューチャー株式会社 広報：清水、石井 TEL:03-5740-5721

お問い合わせフォーム：https://www.future.co.jp/apps/contact/corp/press_interview_entry.php